

2019

9

September Vol.42

# JALまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「飯南町 パプリカ」 雲南地区本部



日本武尊

飯南高校 神楽愛好会

Nzomichi 

 JALまね く に び き 地区本部版



島根には誇れる農産品がたーっさん!

# 島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

## 飯南町 パプリカ

9月は、雲南地区本部。飯南町で、パプリカの生産に取り組む中野良介さんにお話を伺ってきました。

中野さんは元々神戸でサラリーマンとして働いていましたが、「当時は仕事に対して特にやりがいを持ってず、ただ何となく生きていた」と振り返ります。気づけば30代も半ばになり、このままの生活に疑問を感じ始めた頃、以前から『田舎で農業をしたい』という妻の言葉にだんだん共感していき、移住先を探し始めました。インターネットで全国中の田舎を隈なく探していたところ、妻が「ここはどう?と見せてくれたのが飯南町でした。もちろん行ったこともなく、縁もゆかりもない地でしたが、役場に電話し、とりあえず一度見学に行くこと

### 都会から田舎へ移住



お話を伺った中野良介さん。

に。初めて訪れた際、担当職員の対応や目の前に広がるロケーションを見てすぐに気に入り、2012年、妻と子ども2人の家族4人で飯南町へ移住しました。

### 充実した農業研修制度と地域の関わり

飯南町ではUターンして自営就農を目指す人に、研修先の紹介や空き家の斡旋、研修中の生活費の支給など手厚い支援を行っています。その充実した制度があったことも、中野さんが飯南町を選んだ理由のひとつ。2年間の研修期間中には、研修先農家でパプリカ、メロンなどの栽培をしながら、初めて携わる農業の知識を身につけていきました。師匠からは苗の植え方から農機具の使い方などの基本的な技術はもちろん、「消防団への参加、近所の葬式の手伝い、祭りの担い手」など、この地域で生きていくために大切なことを一から教わりました。最初は戸惑いながらも言われた通り参加していましたが、だんだんと地域の人との関わりが深くなり、今ではしっかりと信頼関係を築けるまでに。おかげで、近所の

### 自営就農スタート

農家さんに気軽に質問できたり、農地を探している時に声を掛けてもらえたりと、「この地域の一員」として助けてもらうことが増えたそうです。

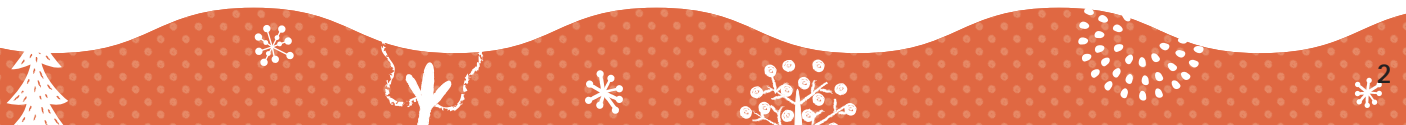
研修を終え、「中野あおぞら農園」として自営就農をスタート。当初はパプリカを主に、露地畑で大豆やサツマイモなどの作物も栽培していましたが、昨年ハウスを移動する際、パプリカだけに集中しようという決意。現在、中野さん



大きくて甘いパプリカ。噛めば果汁の多さも際立つ。



現在、12棟のハウスで栽培を行っている。赤、黄の品種ごとにハウスを分けている。





毎年、気候条件などを考慮しながら栽培方法を変えていく。

「今年で6年目になります  
が、実はまだ『これが自分の  
やり方』という決定的なもの  
は見つかっていません。という  
のも、気候や条件が毎年違う  
ので、やり方を確立するのは  
とても難しいんです。」と語る

### 毎年、試行錯誤を重ねていく

が所有するハウスは12棟。約30aもの広い土地に赤、黄、それぞれのパプリカの苗が所狭しと植えられています。飯南町のパプリカは、大きく、綺麗なベル型で定評があります。毎年春に定植し、7月末から収穫が始まります。ほぼ毎日収穫できるので、朝早くから夜遅くまで作業が続き、人手が足りないくらいまで忙しくなるとか。霜が降りる11月には株が枯れ、この年の栽培期間が終了します。農園で収穫するパプリカの量は年間で約8tにものぼります。



株間が広いと風通しが良く悠々と成長するので品質の良いものが収穫できる。病気も出にくいので減農薬が可能になる。



今年は遮光資材を設置した。費用は飯南町が半額助成している。

中野さん。去年やったことを今年同じようにやってもうまくいかないことが多く、毎年、試行錯誤を重ねながら栽培を続けています。例えば、農薬の種類や、追肥の適切なタイミング、株をどのくらいの間隔にするか、何本仕立てが良かったかなど、その都度試すことはたくさん。今年は最初に有機質なものを肥料と一緒に混

## パプリカ 一口メモ

鮮やかな彩りを見せるパプリカ。最初はピーマンのように緑色の実をつけ、熟すと赤、黄、オレンジの色になります。パプリカは一般的に夏の高温になると色付きが早くなり、実が小さいまま収穫されることが多いのですが、標高の高い飯南町では他の地域に比べ気温が低いので色付きも遅く、ひとまわり大きくなるまでじっくり育てることができます。このような好条件を持つ飯南町での栽培を広め、産地化していこうという取り組みが始まっています。甘くて、肉厚で、ジューシーな飯南町のパプリカをぜひご賞味ください。



中野さんは「体力的にはしんどいことが多いが、生きていけると実感しながら今の生活を楽しんでいる」と語る。

ぜ、土作りにこだわりました。このように毎年、JAの担当者と一緒に考えながらパプリカ作りに挑戦しています。

### 生きているという実感

中野さんは、農業を「生業」としてやっていこうと覚悟して飯南町に移住しました。しかし、現実には厳しく、冬はアルバイトで生計を立てています。それでも、やめようとか帰ろうという気持ちにならなかった

### 飯南町をパプリカの名産地に

6次産業化の取り組みとして今年の冬季から、パプリカを使用したドレッシングの商品開発を、妻が中心となって本格的に行う予定です。それを足がかりに、今後は色々な販路を開拓し、生産の分野でも加工の分野でも同時に安定した収入を得ることが目標で

ことはありません。周りから教わったことを自分なりに受け止め、忠実に実行していくことで、パプリカの生産も地域の付き合いも軌道に乗ってきました。以前のように、ただ何となく生きている感じではなく、ここではしっかりと地に足をつけて生きていると実感できているからです。



「パプリカといえば飯南町」と言われるように、JAも町も新規就農者に対して支援を行っている。

す。そして、将来的に飯南町をパプリカの名産地にしたいと思っています。日本国内には、まだ圧倒的な産地がありません。だから、『パプリカといえば飯南町』と言われるようになるまで、一緒に生産していける仲間が欲しいですし、自分も協力して人材を育成できればと思っています。

## 基本方針

### 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため、増加している加工・業務用需要を取り込むべく、外食・中食業界に対する直接販売に取り組みます。また生産資材価格の引き下げを実現するため、県域を超えた銘柄の集約や費用対効果による総合的な提案を行い、生産資材コストの削減に取り組みます。

### 「地域の活性化」への貢献

総合事業（営農・経済、生活・購買、信用、共済、厚生、旅行、介護、直売・加工等）を通じて、組合員と地域住民の生活インフラの一翼として役割を發揮します。

### 健全経営の為の取り組み

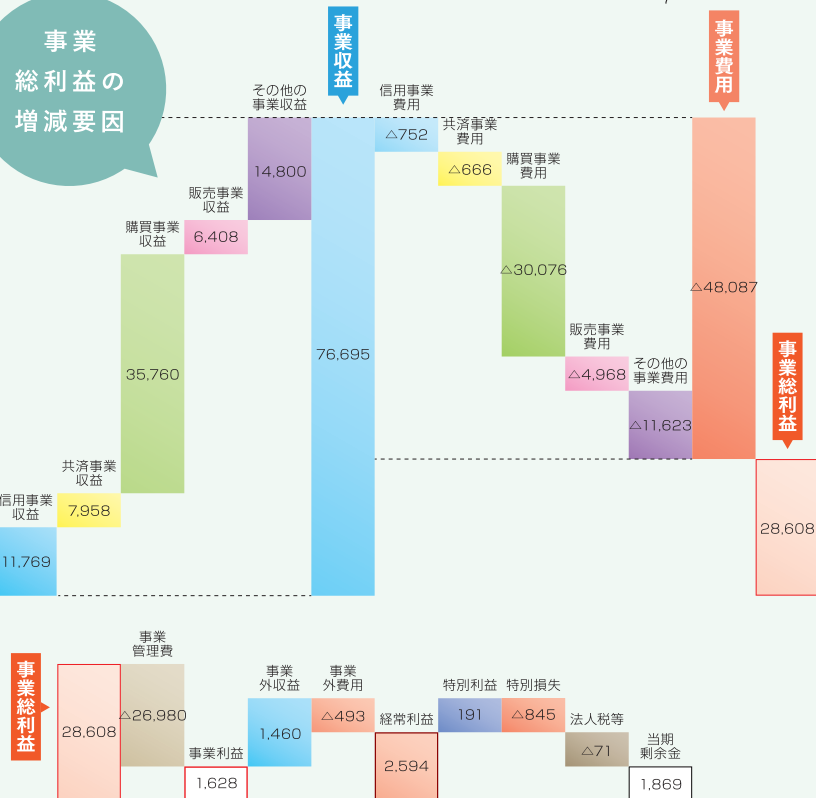
「健全な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンスを重視した職場づくりに取り組みます。農協法の理事構成要件の改正もふまえ、業務執行体制を見直し、地域農業の担い手や実践的な能力を有する者の登用拡大に向けて取り組みます。自ら策定した自己改革の取組施策を着実に実践するため、組合員の皆さまとの対話を重視し、組織を挙げて取り組みます。

# 1

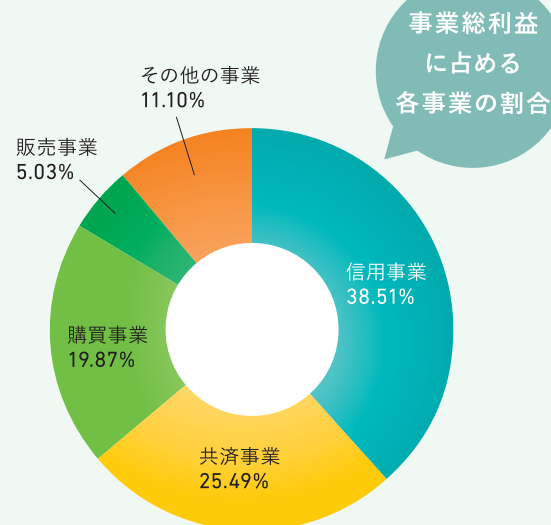
営業に関する  
ご報告



## 損益の状況（平成30年度）



損益は、事業総利益が28,608百万円、経常利益が2,594百万円となり、当期剰余金が1,869百万円となりました。



## 貸借対照表

(単位:千円)

科目		平成29年度 (平成30年3/31)	平成30年度 (平成31年3/31)
資産の部	1 信用事業資産	975,949,366	987,179,693
	2 共済事業資産	397,506	7,663
	3 経済事業資産	14,997,625	15,701,926
	4 雑資産	5,215,288	5,167,691
	5 固定資産	37,071,750	37,316,896
	6 外部出資	59,003,319	68,104,802
資産の部 合計		1,092,634,857	1,113,478,673

科目		平成29年度 (平成30年3/31)	平成30年度 (平成31年3/31)	
負債の部	1 信用事業負債	991,018,624	1,011,549,963	
	2 共済事業負債	5,744,488	5,487,169	
	3 経済事業負債	5,115,669	4,928,414	
	4 設備借入金	485,087	336,511	
	5 雑負債	3,301,824	3,288,716	
	6 諸引当金	7,935,763	7,918,073	
	7 繰延税金負債	1,047,200	733,863	
負債の部 合計		1,014,648,659	1,034,242,712	
純資産の部	1 組合員資本	69,692,786	71,143,209	
	2 評価・換算差額等	8,293,411	8,092,750	
	純資産の部 合計		77,986,198	79,235,960
	負債および純資産の部 合計		1,092,634,857	1,113,478,673

## 損益計算書

(単位:千円)

科目	平成29年度 (自平成29年4/1 至平成30年3/31)	平成30年度 (自平成30年4/1 至平成31年3/31)
1. 事業総利益	28,449,324	28,608,268
1 信用事業収益	12,233,870	11,769,657
2 信用事業費用	1,875,658	752,883
信用事業総利益	10,358,212	11,016,773
3 共済事業収益	8,379,262	7,958,664
4 共済事業費用	722,186	666,076
共済事業総利益	7,657,076	7,292,587
5 購買事業収益	35,926,078	35,760,631
6 購買事業費用	30,299,985	30,076,264
購買事業総利益	5,626,092	5,684,366
7 販売事業収益	10,544,403	6,408,070
8 販売事業費用	8,933,192	4,968,659
販売事業総利益	1,611,211	1,439,410
9 保管事業収益	221,626	239,373
10 保管事業費用	82,664	79,375
保管事業総利益	138,961	159,998
11 加工事業収益	5,789,549	5,729,639
12 加工事業費用	5,227,567	5,192,587
加工事業総利益	561,981	537,051
13 利用事業収益	2,039,940	2,050,556
14 利用事業費用	1,108,216	1,146,630
利用事業総利益	931,724	903,926
15 葬祭事業収益	3,745,670	3,766,303
16 葬祭事業費用	2,334,997	2,347,977
葬祭事業総利益	1,410,672	1,418,326

科目	平成29年度 (自平成29年4/1 至平成30年3/31)	平成30年度 (自平成30年4/1 至平成31年3/31)
17 宅地等供給事業収益	228,937	62,003
18 宅地等供給事業費用	202,360	42,889
宅地等供給事業総利益	26,576	19,114
19 農業経営事業収益	932,824	1,072,072
20 農業経営事業費用	1,052,509	1,042,874
農業経営事業総利益	△ 119,684	29,198
21 その他事業収益	1,458,278	1,292,704
22 その他事業費用	688,720	543,362
その他事業総利益	769,558	749,341
23 指導事業収入	622,287	585,607
24 指導事業支出	1,145,345	1,227,434
指導事業収支差額	△ 523,058	△ 641,827
2. 事業管理費	27,432,571	26,980,072
事業利益	1,016,752	1,628,196
3. 事業外収益	1,518,861	1,460,576
4. 事業外費用	345,711	493,978
経常利益	2,189,902	2,594,794
5. 特別利益	286,540	191,495
6. 特別損失	1,458,240	845,006
税引前当期利益	1,018,202	1,941,283
法人税等合計	408,458	71,582
当期剰余金	609,743	1,869,701
当期首繰越剰余金	489,001	679,627
経営基盤強化積立金取崩額	919,565	94,341
税効果積立金取崩額	8,060	-
当期末未処分剰余金	1,098,745	2,643,671

## 農業関連事業

### 購買事業(生産資材)

肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬・飼料の銘柄集約による値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、生産購買品供給高は12,847百万円となりました。



# 2

事業別業況  
(平成30年度)



### 販売事業

米の買取制度を30年産米も継続実施し、また畜産の増頭対策や購買者誘致、園芸重点推進5品目の拡大を継続的に取り組んだ結果、販売品販売・取扱高は37,752百万円となりました。

## 生活関連事業

### 購買事業(生活物資)

地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営や、県下統一企画による自動車・ガス・石油事業の各種セールを展開した結果、生活購買品供給高は21,067百万円となりました。



## 共済事業

共済渉外担当者(LA)を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者(スマイルサポーター)による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまねこども倶楽部」の普及に努めた結果、長期共済保有高が3,438,480百万円、年金共済保有高が21,292百万円となりました。

## 信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえた各種キャンペーンや新商品の投入など、農業と地域利用者をつなぐ金融サービスの提供に取り組んだ結果、貯金が期末残高977,670百万円、貸出金が期末残高298,851百万円となりました。





## 農業振興支援事業での持続的営農への支援

平成30年度は、担い手の規模拡大や複合型営農の促進、新規就農者の初期投資の軽減対策を実施しました。

特に、園芸重点推進5品目の拡大支援やしまね和牛子牛の増頭対策等、担い手の複合型営農形態の促進に向けた取り組み支援に加え、新規就農者の育成確保、担い手の健康対策に3.6億円を活用し支援しました。

また、JAしまねによるリースハウス・リース園地のリース料負担軽減対策を実施し、規模拡大や新規参入の促進を支援しました。

# 3

農業振興  
活動

# 4

地域密着型  
金融への  
取り組み

## 子育て応援宣言

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様を全力サポートしています。

住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。

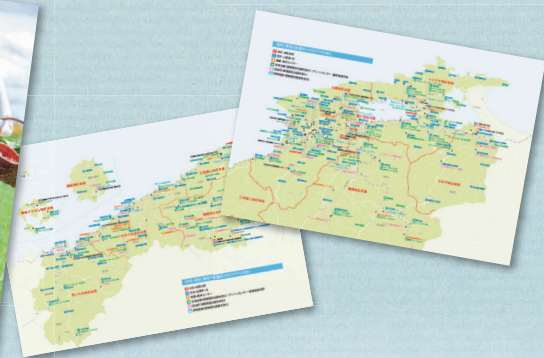
また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乗せ定期積金をご用意しています。



## 2019 DISCLOSURE

ディスクロージャー誌の本冊ではJAの経営内容や事業所の配置図など、JAの詳しい情報をご紹介します。ご要望の方には、信用店舗にて無料配布しております。また、JAしまねウェブサイトでも閲覧いただけます。

ウェブサイト <http://ja-shimane.jp/disclosure/>



JALしまね

### PROFILE

設立	平成27年3月1日
本店所在地	島根県松江市殿町19-1
出資金	225億円
総資産	1兆1,134億円
単体自己資本比率	14.06%
組合員数	230,154人
役員数	72人
職員数	3,536人
事務所数	201



# 雲南地区本部 よこただんだん市場



# 産直へようこそ!!

可成り離れた地域の特産品「よこただんだん市場」  
 島根県内の産直店舗を「紹介」します。



直売所「よこただんだん市場」は豊かな自然が残る奥出雲町横田地区の人気の直売所だ。

横田市街地より約1km、広島県福山市と島根県雲南市を結ぶ国道314号線沿いに店を構える同直売所は、県外からの来店者も多く、行楽シーズンには店舗前のスペースで地元そば打ちグループがそばの実演販売を行うなど、季節を通して来店者を楽しませる。

中国やまなみ街道（尾道松江線）の開通当初は、314号線の交通量が減少し来店者が少なくなるのではと心配されたが「よこただんだん市場の来店者数に大きな変化はなく、今でもたくさんのお客様にご来店いただけている」と同直売所の運営を手掛ける(有)さあやファームの加納弘光さんは話す。心配された県外からの来店者は、以前から同直売所を訪れていた多くがリピーターとなり、移動の際わざわざ同直売所を経由していただけなのだとか。そして何よりも、日々ご利用いただいている地元の人々に支えられている。取材当日も、



「仁多米」コーナーは県外の方にも好評

「仁多米」コーナーは県外の方にも好評



漬物など手作り品コーナーも充実の品ぞろえ



も同直売所を多くの方が訪れる理由の一つ。9月のおすすめはブドウ。昼夜の寒暖差が大きい奥出雲町産は抜群の甘さと評判で、同直売所も太鼓判を押す逸品。これからは、米どころの奥出雲町が全国に誇る「仁多米」をはじめ、秋野菜や手作りの漬物など奥出雲町ならではの商品が並び、店内は実りの秋に彩られる。



甘〜いトウモロコシ!



スタッフの皆さんからは「花もオススメ!」と教えていただきました



店名：よこただんだん市場  
 所在地：島根県仁多郡奥出雲町下横田1652-1  
 TEL：0854-52-9234  
 営業時間：10:00～18:00／土・日・祝9:00～17:00  
 定休日：年中無休（但し、年末年始と1月～4月下旬の火曜日は休み）



# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

## 出雲市 NPO法人 つわぶきネット (特定非営利活動法人 障がい者就労支援ネットワークつわぶき)

平成25年6月に開所した障がい者支援事業所「NPO法人 つわぶきネット」では、市内の企業からの受託作業などを行うほか、利用者の方の工賃（時給）向上を図ろうと、菌床しいたけを栽培しています。平成27年2月に冷凍輸送コンテナを改装した「サンマッシュBOX」を導入し、同年7月に栽培を開始。大幅な工賃の向上につながり、翌28年度に2基目、平成30年度には3基目を設置しました。3基目の導入にJAしまね農業振興支援事業を活用しています。

菌床しいたけ栽培に適した環境は人間にとっても快適で、収穫等の作業も重労働は少なく安全です。特に「サンマッシュBOX」は普通のハウスと比べても保温性能が高く、1年を通して安定した環境で作業できます。

今では、収穫、出荷調整作業など、作業の9割以上は利用者の方がされています。作業工賃も栽培を始める前の倍以上になったそうです。

同法人支援スタッフの松本頼明さんは「利用者の皆さんの作業時間は決まっていますが、環境が整ったことで活躍していただけるチャンスが増えました」と成果を話してくださいました。



サンマッシュBOXについて説明する松本さん



## 一所懸命 青年連盟

### くにびき青年連盟

くにびき青年連盟は、松江市管内の農業者やJA職員など108名で構成する組織です。地域農業の発展や地域の活性化、地産地消の推進などを目的に盟友が一丸となり、日頃より活動をしています。主な活動として、市内の幼稚園と米作り体験を通じた食農教育や親子芋掘り大会などの農業体験、農林水産祭等の各種イベントでの地場産農産物の販売やPRなどに取り組んでいます。また、平成29年度から、農業者へ出会いの場を創出しようと婚活イベントも開催しています。

このような活動を広くPRするためにFacebookを活用しています。ぜひ、ご覧ください！



園児と米作りを通して交流



各種イベントで地場産農産物をPR



婚活で出会いの場を創出

## 雲南

### 交通安全や命の大切さ伝える ひまわりの絆プロジェクト

京都府での交通事故で亡くなった男児が生前に育てていたヒマワリの種を全国各地で開花させ、交通安全や命の大切さを訴える「ひまわりの絆プロジェクト」。雲南市大東町の福間進さん(80)の自宅では元気なヒマワリが咲いています。

福間さんは以前から道幅が狭くて事故が多かったという自宅前の道路に自費で看板を設置するなどして注意喚起に取り組んでいました。2017年から島根県でも同プロジェクトが始まったことを知り、その年に10粒受け取りました。

昨年は6本、今年は20本が開花。花が終わった後は大東町下佐世にある玄寺の総代らが組織する「大東ひまわり」を通じて希望者に種を10粒ずつ分ける予定です。福間さんは「特別なヒマワリの輪が一人ひとりに広がっていき、安全運転を心がける人が増えてほしい」と各地で花開くヒマワリに想いを馳せます。



ヒマワリを育てている福間さん(左)と大東ひまわりのメンバー青木万昌さん

## くにびき

### 更なる品質の向上を目指す！ 松江大根島牡丹協議会総会を開催

松江大根島牡丹協議会(足立利人会長・73名)は8月8日、八束支店で総会を開催しました。

当日は、会員や関係者など25名(委任状出席22名)が出席。冒頭、足立会長が「国内外で高い評価を得ているが、出荷数量は年々減っている。生産者同士で生産技術や意欲を向上させ、より多くの牡丹を出荷できるよう、協力していこう」と挨拶しました。

その後、足立会長を議長に選任し、議事を進行。平成30年度の事業報告や令和元年度の事業計画や収支予算、買取牡丹苗単価など上程された全議案について承認しました。

今年度は国内での販促のほか、ニューヨークや台湾など、国外での販促も計画しています。



## 隠岐

### 夏の夕市で賑わい

隠岐農産物生産者協議会は8月9日、隠岐の島町内にある施設「隠岐島文化会館」を会場に恒例の夏の夕市を開催しました。

毎年お盆前に開催し、「お盆は地元産品で」をコンセプトに地元で採れた農産品や加工品等を販売しています。今年は4組の生産者(団体含む)とJAしまね隠岐地区本部が出店し、お盆向けのシキミやサカキ、ホオズキなどの供え物やメロン、夏野菜といった農産物など多数の品揃えとなりました。

この日は約60名のお客様がお盆向けの商品などを求め来場され、にぎわいを見ることができました。年末には「年の瀬市」として、お正月向けの商品などを販売する催しを予定しています。一方で、開催にあたっての課題もあり、生産者の高齢化などにより、数年前の開催から見れば半数程度の出店者数となっていることなどから、開催規模が小さくなっています。今後、開催内容などを工夫、検討する中で、引き続き地域の皆様に喜んで頂けるよう、継続していければと考えています。



## やすぎ

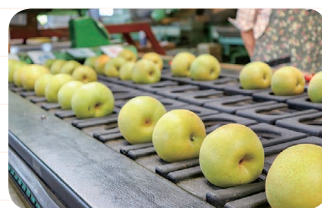
### 安来の梨 選果始まる

やすぎ梨生産部会は8月2日、下坂田町の梨選果場で今季の梨の選果をスタートしました。当日は県や市、運送業者等を招き、総勢60人の関係者が集まり開場式を開催しました。

2日から「幸水」、23日からは「二十世紀」の選果が始まり、今季は「幸水」4ト、「二十世紀」50トの出荷、約2,500万円の販売を計画しています。また、選果場では進物イベントを行っており、毎年多くの人が安来の梨を求めて訪れます。

同部会は26戸の農家が約10畝で梨を栽培しており、安来の梨は好評で市場での根強い人気があります。今後は、地元小学生の選果場見学や市長へ梨の贈呈を行う予定で、

岩田繁樹部会長は「まずは地産地消の拡大で梨の消費を増やし、今後は海外出荷も視野に入れ農家の所得増大を目指していきたい」と話しました。



## 斐川 「ひかわ女の夏まつり」 開催

8月8日、斐川文化会館で斐川地域の女性農業者らで組織する「アグリレディーズネットワーク・ヒロイン」が中心となり「第25回ひかわ女の夏まつり」が開催されました。積極的な農村女性活動を通して女性たちのネットワーク構築と地域の活性化を目指す活動の一環として行われ、今では夏を彩る行事として定着しています。会場では会員手作りの焼きそばや炊き込みご飯、トマトケチャップなどが販売され、舞台ではフラダンスやよさこい、日本舞踊など各団体が日頃の活動の成果を披露しました。また、JAしまね斐川女性部とJA職員も参加させていただき、「パプリカ」の曲に合わせてダンスを披露しました。ダンスの中盤からは、今年入組した新入職員と若手職員によるコント仕立ての劇を取り入れ、会場を盛り上げました。フィナーレでは、山根善治本部長と女性部の飯塚順子部長も参加し、同地区本部が提供した「飴」をまき、祭りを締めくくりました。



## 隠岐 どうぜん 支店を華やかに 「おもてなし活動」

JAしまねふれあい活動の一環として“おもてなし”をテーマに支店毎の取り組みを行いました。西ノ島支店では「みどりのカーテン」として日よけを兼ね一日を飾るように、朝顔・夕顔のプランタ植えを金融共済客だまり外側サッシ一面に配しました。支店入口花壇には、昨年の猛暑で残念にも枯れたシャクナゲにかわり、ガザニアを植えました。海士支店では支店周辺の草抜・草刈などの清掃と、花壇やプランタに「サルビア・ペチュニア」などの花を植え気分一新を図りました。また、JA女性部も統一行動として「ゴーヤ苗による緑のカーテン」に取り組み、実ったゴーヤを支店金融窓口でプレゼントして喜ばれました。なお、西ノ島支店では昨年、町主催の「グリーンカーテンコンテスト」で、最優秀賞の栄冠に輝いていますので、今年も連覇を目指して取り組んでいるところです。



## 石見銀山 大田市の素材を活かす農産加工セミナー 夏野菜の加工処理を学ぶ

大田市農林業振興協議会農産加工部会は、大田市長久町の石見銀山地区本部本所で「大田市の素材を活かす農産加工セミナー」を開きました。

石見銀山産直出荷者協議会会員の他、大田市などの関係機関職員が集まりました。

福岡県の「有限会社 職彩工房たくみ」の尾崎正利代表取締役を講師に、余った夏野菜を漬物など保存処理することで有効活用する方法を学びました。

近年では、夏場の気温上昇の影響もあって、全国的に漬物（浅漬）による食中毒も発生しています。

セミナーは、適切な処理方法など実技を踏まえながら行われました。



講義を行う尾崎代表

## 出雲 「第14回出雲神話まつり」 JAの若手職員が参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第14回出雲神話まつり」が8月10日、11日の両日開催され、10日に行われた「出雲盆踊り」に、JAしまね出雲地区本部の入組1、2年目の職員21人が参加しました。同地区本部では毎年若手職員が業務終了後に練習を重ねて踊りに参加し、地域振興に取り組んでいます。

当日は同JA出雲女性部の今市・荒茅・園支部なども含め約1,000人が踊りに参加。それぞれそろいの浴衣などを着て、出雲市今市町のくにびき中央通りを踊りながら練り歩きました。

11日には大津神立河川敷公園で花火大会が行われ、約8,000発の花火が出雲の夜空を彩りました。



出雲盆踊りを踊る職員

西いわみ

## 特設テントで ケイトウ即売会を開催

益田市でケイトウ栽培を手がけるJAしまね西いわみ女性部ケイトウ栽培グループ(グループリーダー佐々木孝子)は8月9日と10日の両日、同市駅前町JAしまね西いわみ地区本部前で真っ赤なケイトウの即売会を開きました。

メンバーらが育てたケイトウを広く知ってもらおうと平成30年から始めたものです。ケイトウは花の大きさごとに分け、3~4本ずつを一束にしてラッピングして販売しました。

当日はケイトウ60束のほか10種類以上の旬の野菜や果物なども揃え、特設テントでメンバーらが販売し、JA利用者や市民らが足を止め色鮮やかなケイトウを買い求めました。



島根  
おおち

## ふるさと味覚便発送終了

島根おおち地区本部では、毎年6月下旬から8月上旬にかけて「旬のふるさと味覚便」として、島根で育った農産物を全国へお届けしています。今年も、島根おおち管内で大切に育てられた、トマト、トウモロコシのほか、県内の農産物を準備し、桃太郎トマト約600ケース、スイートコーン約950ケース、アムスメロン約300ケース、アールスメロン約150ケースを県内を含め全国各地に発送しました。今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取組みを行ってまいります。

冬には「味の絆」として、石見和牛肉、石見高原ハーブ米、きねつき餅等、管内の農畜産物や加工品を全国へお届けします。



島根シャインの美味しさをシェアしよう♥

Instagram♥  
フォトコンテスト

開催中

JAしまねでは、『ご縁の国しまね』で栽培された島根県産シャインマスカット【縁~えにし~】の魅力を発信していただくため、Instagramフォトコンテストを開催しています！

応募締切は令和元年9月30日。

皆様からの「縁映え(えにしばえ)」する作品をお待ちしています！

島根シャインマスカットに関する写真を  
Instagramで投稿してね!



当選者に  
シャイン  
マスカット  
プレゼント!!

詳細はJAしまねホームページにて  
ご確認ください。

<https://ja-shimane.jp/archives/2042/>



いわみ  
中央

## お見事!浜田市野球スポーツ少年団 JAカップ 第36回 島根県学童軟式野球選手権大会 優勝!

去る8月17、18日に開催されたJAカップ第36回島根県学童軟式野球選手権大会で浜田地区代表の『浜田市野球スポーツ少年団』が3年振り2度目の優勝を果たしました。

決勝戦は優勝候補の一角で地元の松江・隠岐代表の城西レッドスターズとの対戦となりました。初回到4点を先制し試合を優位に進め、投げては原道夢君のコーナーをつくピッチングで強打の城西打線を封じ込めましたが、最終回二死から城西の粘り強いバッシングと守備の乱れなどから3点を奪われ、一時は逆転される状況まで追い込まれましたが、最後のバッターを空振り三振に打ち取り6-4でゲームセット!3年振り2度目の栄冠に輝きました。

スタンドの保護者の方々の大きな歓喜の拍手で閉幕しました。

暑い中での連戦で子供達も保護者の皆さんも大変でしたが、優勝という最高の結果に喜んでおられました。本当におめでとうございます。







米袋からサンプルの玄米を抜き取る検査員



初検査の様子

### 令和元年産米 初検査実施!

令和元年産米の検査が8月26日、下佐陀倉庫で始まりました。この日はハナエチゼン711袋を検査し、一等米比率は87.2%でした。

初検査式には、JA役職員や荷捌き担当者ら約30人が出席。冒頭、栗原令本部長が「令和になり、初めての検査。生産者が丹精込めて作ったおいしい米を、消費者の皆さんに届けられるよう適切に検査してほしい」と呼び掛けました。その後、検査手順や出荷手続きの最終確認を行い、検査を開始しました。

検査では、出荷された米袋からサンプルの玄米を抜き取り、粒の色や大きさ、水分含有量などを入念に調べ、等級の格付けを行いました。

### 令和元年産米集荷状況

令和元年8月30日現在

(単位:袋・%)

品種名	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比	
			1等	2等	3等			
うるち	ハナエチゼン	9,869	1,744	1,553	178	13	89.0%	17.67%
	コシヒカリ	32,162	218	91	127	0	41.7%	0.68%
	きぬむすめ	46,021	0	0	0	0	0.0%	0.00%
	つや姫	22,532	255	255	0	0	100.0%	1.13%
	その他	110	52	0	0	52	0.0%	0.00%
うるち計	110,694	2,269	1,899	305	65	83.7%	2.05%	
もち	982	0	0	0	0	0.0%	0.00%	
合計	111,676	2,269	1,899	305	65	83.7%	2.03%	

※各品種の「しじみ米」は品種数量に包含しています。

加工用米	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比
			1等	2等	3等		
	1,009	311	124	187	0	39.9%	30.82%

目標数量	集荷袋数	目標数量対比
120,000	2,269	1.89%



当選者に巨峰を手渡す須山副会長（左）



花や野菜を買い求める来場者

## 水辺の朝市夏のイベント開催 生産者の顔が見える笑顔のマーケット!



画や管内産のオールスモロンや巨峰、シャインマスカットが当たる抽選会もあり、大勢の来場者で賑いました。

須山智帆副会長は「昨年に比べ、程よく雨が降ったので、品質の良い物がたくさん並んでいる。今年から抽選会も企画したので、たくさんの人に来場してもらえた」と笑顔で話しました。



水辺の朝市連絡協議会は8月11日、松江市役所駐車場で水辺の朝市夏のイベントを開催し、多くの人で賑いました。

同協議会は、29組の地元農家や生産グループで構成し、毎週日曜日の朝に同所で開催。地場産の新鮮な野菜や花を持ち寄り販売し、利用者からは、生産者の顔が見え、安心して買えると好評を得ています。

当日は、開催時間の朝7時よりも前から長蛇の列ができ、開始の合図とともに、目当てのケイトウ、菊などの盆用の花やトマト、ブドウなど旬の農産物を買って帰っていました。また、先着150名へ、きぬむすめ2合入袋を進呈する企画もありました。

12万袋目標

## 令和元年産米仮単価が決定

米生産者の皆さまへ

JAしまねでは、「農業者の所得増大」を最大目的として、JAに出荷をいただく米生産者の皆さまからの令和元年産米の買取手法について以下のとおり実施させていただきます。出荷時の「仮単価」と12月の「追加金」の2段階によるお支払いをします。さらに、精算可能財源が生じれば、翌年11月を目途に最終精算金をお支払いします。1袋でも多く出荷いただきますようお願いします。

(単位：円(税込)／30kg袋、( )内は平成30年産出荷時仮単価対比)

品種	等級	1等	2等	3等
ハナエチゼン		6,100 (+100)	5,900 (+250)	5,400 (+250)
ハナエチゼン しじみ米		6,200 (+100)	6,000 (+250)	5,400 (+250)
コシヒカリ	1.9上	6,450 (± 0)	6,150 (+150)	5,650 (+150)
	基準	6,350 (± 0)		
コシヒカリ しじみ米	1.9上	6,550 (± 0)	6,250 (+150)	5,650 (+150)
	基準	6,450 (± 0)		
コシヒカリ くにびき米	1.9上	6,650 (± 0)	6,350 (+150)	5,650 (+150)
	基準	6,550 (± 0)		
つや姫 (特別栽培米 ST)	1.9上	6,750 (+100)	6,450 (+250)	5,700 (+250)
	基準	6,650 (+100)		
つや姫 (特別栽培米)	1.9上	6,700 (+100)	6,400 (+250)	5,700 (+250)
	基準	6,600 (+100)		
きぬむすめ	1.9上	6,350 (+50)	6,050 (+200)	5,550 (+200)
	基準	6,250 (+50)		
きぬむすめ しじみ米	1.9上	6,450 (+50)	6,150 (+200)	5,550 (+200)
	基準	6,350 (+50)		
その他うるち (一般米扱い)		5,500 (± 0)	5,300 (+150)	4,800 (+150)
銘柄もち (一般米扱い)		6,000 (+250)	5,400 (+250)	4,900 (+250)
その他もち (一般米扱い)		5,500 (+250)	4,900 (+250)	4,400 (+250)

※1等米品質区分について、1.9mmふるい目は「1.9上」、1.85mmふるい目は「基準」となります。  
 ※この価格表はくにびき地区本部に該当する品種のみ掲載しております。

### 「きぬむすめ」に対する出荷奨励

令和元年産米出荷数量のうち、平成30年産米出荷実績を上回った出荷数量に対し  
 出荷奨励として、1袋(30kg)当たり500円(税込)をお支払いいたします！

**対象** JAしまね米として確認がとれた主食用米の「きぬむすめ」で、等級が1～3等の規格品とします。  
 ※規格外品、加工用米は対象外となります。

**対象期間** 12月2日(月) までに出荷された「きぬむすめ」

**支払時期** 12月下旬

**お問い合わせ** 米穀畜産課 TEL：55-3038

# 組んでいます。

## ～くにびき地区本部の取り組み～



柿小屋で意見交換をする丸山知事と生産者

その後の意見交換会では、同生産組合の三島博理事が「我々は丹精込めて作っている。さらなる販売促進をお願いしたい」と思いを伝えると、丸山知事は「徹底した品質管理とこだわりをさらに評価してもらえるよう、生産者と行政やJAが協力していきたい」と回答しました。

10月下旬から収穫が始まり、11月下旬に出荷が始まる予定。

今年度は、30万玉の出荷を計画しています。

くにびき地区本部の特産、「畑ほし柿」の生産地である東出雲町上意東の畑地区を8月1日、丸山達也島根県知事が視察に訪れ、「畑ほし柿生産組合の理事やJA役員など約20名と意見交換を行いました。

「畑ほし柿」は、餡色の宝石と称され、適度な柔らかさと上品な甘さが特徴。昨年は、約25万玉出荷するなど、県内外で高い評価を得ました。今回、県内の特産品の現状を把握したいと知事自らが訪問されました。

当日は、同生産組合の富士本数彦理事が「SNSでの情報発信や他業種と連携することで、ブランド力の向上やファン作りに努めている」と生産組合の取り組みについて説明。

### 丸山知事が畑地区を視察 特産「畑ほし柿」について意見交換



丸山知事(右)へほし柿を渡す森廣紀元副組合長(左)



### 松江大根島牡丹の販路拡大へ!

### 台湾で特産品販路拡大会議開催

くにびき地区本部は8月19日から23日の日程で、松江市の担当者と共に台湾の台北市を訪れ、特産品販路拡大会議の開催や技術指導を行いました。

今回の訪問は、松江大根島牡丹を中心に特産品の販売展開について協議し、更なる販路拡大や輸出拡大に繋げることを目的に計画したものです。

特産品販路拡大会議では、松江大根島牡丹の展示販売を手掛ける、同市農業発展科や建国花市自治会など、関係機関から12名が参加し、2020年1月に予定されている春節前の販売イベントなどについて協議しました。また、「西条柿のほし柿」やつや姫、乾燥椎茸の取り扱いについても商談しました。

併せて、昨年より牡丹の開花調整施設の整備に着手している宍番育樂農場で、技術確立のための抑制管理技術や新設に向けての指導などを行い、現地での販売力強化に努めました。

訪問した岩田政彦営農指導課長は、「協議を重ねるごとに、松江の特産品の需要が高まっていることが実感できる。引き続き、PRしていきたい」と話しました。



会議の様子



現地で指導する松江市の担当者(手前)



# 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り



デモンストレーションの様子

当日は、島根県農業管理指導士で行政やメディアにも空撮映像を提供しているドローン操縦士の杉谷篤志さん(57)が「農業におけるドローンの活用」と題し、ドローンの構造やメリットについて解説。その後、場所を駐車場に移し、実際にドローンを飛ばすデモンストレーションを行いました。杉谷さんは「薬剤散布や特殊カメラを使った圃場管理、生育確認などドローンの活用方法はこれから広がる」と力説しました。

同連盟の野津委員長(37)は「新時代の農業を築くためにスマート農業の知識を得ることが必要だと感じていた。厳しい農業界を再生するため、若い力で新しい農業を始め、地域を活性化したい」と意気込みました。

くにびき青年連盟(野津喜洋委員長)は7月27日、教育文化センターSan・san館でドローンの活用方法を学ぶ学習会を開催し、盟友15名が参加しました。

学習会は、生産技術の向上や盟友同士の情報共有を目的に毎年開催。今回はスマート農業を学び、省力化や生産性の向上に繋げようと企画しました。

**スマート農業で省力化!**  
**青年連盟がドローンについて学ぶ**



ドローンについて説明する杉谷さん(左から3番目)

## 営農指導員が巡回します! 営農指導巡回中が目印!

## 営農指導巡回中

JAしまね くにびき地区本部

営農経済部では、営農指導員がより身近な存在として、現地での営農指導を積極的に行うことを目的に、管内圃場を巡回しています。目印は公用車に貼られた**営農指導巡回中**のマグネットシートです。

今後は、必要とされる肥料・農薬等を積載し、現場で直接農家の皆さんに供給する取り組みも開始し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指します。

作物栽培等のご相談は、JAの営農指導員にお任せください!!



## 揖屋地区中海干拓農地販売・貸付現地相談会のご案内

### 中海干拓農地で安全・安心な農業を始めませんか!

しまね農業振興公社では、公社が保有している中海干拓農地の販売又は、貸し付けについての「無料相談会」を開催しますので、お気軽にお越しください。(要予約)

予約申込先・お問い合わせ(主催者)

公益財団法人

**しまね農業振興公社** TEL:20-2870又は22-5115 <http://www.agri-shimane.or.jp/>

### 揖屋会場

開催日 令和元年10月11日(金)

時間 10:30~16:00

場所 揖屋干拓地内

JAしまねくにびき地区本部

中海干拓事業所研修センター



# 地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



八雲支店運営委員会（山根 根盈樹委員長）は8月3日、八雲町東岩坂にある約10aの荒廃農地を活用し、地元小学生を対象に「蕎麦づくり体験」を行いました。

「蕎麦づくり体験」は高齢化や担い手不足により耕作できなくなった圃場で、そばを栽培し景観の維持や農を通じて地域交流を図ることを目的に企画したものです。

当日は、支店運営委員、八雲小学校の児童、八雲支店職員など45名が参加しました。冒頭、山根委員長は「種まきからそば打ちまでの体験を通じて、農業の楽しさや食べ物の大切さを感じてほしい」と挨拶。

続いて、奥原展芳副部長がそばの栽培暦や管理方法などを解説しました。その後、強い日差しが照りつける中、参加者は圃場に移動し約1時間、丁寧に種をまきました。

参加した深江隆惺くん（小学4年生）は「そばの種まきは初めて。そばが好きなので収穫とそば打ちが楽しみ」と笑顔で話しました。

今後は、支店運営委員や支店職員が維持・管理し、来年の年明けにはそば打ち・試食会を実施する予定です。

荒廃農地を活用し蕎麦づくり体験！  
八雲支店運営委員が種まき実施



そばの種をまく児童

# 組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



牡丹集出荷場で説明を受ける参加者



稲蔵で荷受設備を見学する参加者

くにびきサンサン女子大は8月28日、「営農施設学習」を開催し、管内のJA営農施設を見学し、農業について理解を深めました。

午前中は農業や肥料などの生産資材を保管する物流センターの倉庫を見学し、保管状況について説明を受けました。その後、JAグリーンかわつを訪れ、店内に並ぶ新鮮な野菜や果物、特産品を使った加工食品などを手に取り、鮮度と品揃えに感心しながら買い物も楽しみました。また、八束牡丹集出荷場・低温処理施設では、国内外から高い評価を受けている、松江大根島牡丹の出荷状況や牡丹苗の保存方法について学びました。

昼食後には、中海干拓集出荷場やライスターミナル米蔵、カントリーエレベーター稲蔵を巡り、キャベツ等の野菜や米の集出荷の状況を学び、それぞれの施設を見学しました。

参加した学生は、「店頭に並ぶまでに大変な労力がかかっていることがわかったので、今まで以上に感謝していただきたい」「初めて行く施設が多く、説明を受けながら機械を間近で見ることができ、貴重な経験だった」と感想を述べました。

女子大 営農施設学習  
中海干拓集出荷場など巡る



立ち姿を学ぶ参加者

しさと仕草を学びました。

同講座はアンチエイジングを実践し、気持ちも見た目も若々しくなることで、人生を豊かに楽しく過ごしてもらおうと企画したものです。

当日は、コミュニケーショントレーナーで心理カウンセラーなどの資格を持つ宮月純子さんを講師に招き、講座を開始。宮月さんは「自分らしく、楽しく過ごすことが重要。好奇心を行動に移すことで魅力が増し、若々しくいられる」と解説しました。

その後、所作を綺麗に見せる方法を学び、美しく見える立ち姿やウォーキングを実践しました。

参加者は「自分に自信を持ち、肯定することを心掛けた」「重心の置き方だけで、姿勢がこんなにも変わるのかと驚いた」と満足そうに話しました。



解説する宮月さん  
くにびきサンサン女子大卒業生会は8月21日、教育文化センターSan-san館で「インナーからのアンチエイジング」講座を開催。13名が参加し、内面からの女性らしさと仕草を学びました。

女子大卒業生会が開講  
アンチエイジングで  
若々しさを保つ！

※アンチエイジングとは、加齢による心身の衰えに対抗していつまでも若さを保つていくという意味。

# くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



## しじみご飯

宍道地区は日本有数のしじみ漁獲量を誇る宍道湖に面しているため、しじみはどの家庭でもよく食卓に登場します。しじみは小分けして冷凍すれば長期保存ができ、いつでも使えます。そして旨味成分と栄養価もアップするそうですよ。

### 【材 料】(4人分)

米……………2合 しじみ……300g だし汁……300cc  
ニンジン…20g うす揚げ…14g ショウガ…7g  
(調味料)  
薄口しょうゆ…20cc 濃い口しょうゆ…10cc  
酒……………20cc みりん……………20cc

### 【作り方】

- ①しじみは事前に砂抜きし、ざるに上げておく。
- ②米を研ぎ、ざるにあげる。
- ③鍋にしじみと水400ccを入れて、弱火で全部の殻が開くまで煮る。
- ④しじみとしじみ汁に分け、だし汁はこし布でこし、冷ましておく。
- ⑤しじみは殻から身を取り出し、身がぐだけない程度に水洗いする。
- ⑥ニンジン、ショウガは1.5cm長さの千切りにする。
- ⑦うす揚げは細切りにして湯通しをする。
- ⑧炊飯器に米、調味料、だし汁を窯の分量目盛まで調整する。
- ⑨しじみの身、ニンジン、うす揚げ、ショウガを入れ炊く。
- ⑩炊き上がったたら軽くほぐして出来上がり。

### 今月の料理人

宍道支部  
内藤 辰枝 さん (左)  
出川 美子 さん (右)



よく砂を取りのぞくことがポイントです。



参加者募集!

# サン●サン 料理教室

日時

2019年10月29日(火) 10:00~13:00  
※定刻になり次第開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

場所

くにびき地区本部  
San・san館  
松江市西川津町1635-2

栄養価が高く、美容や健康への効果が見直されている発酵食品。毎日の食卓に取り入れてみませんか!



### 10月のメニュー 「からだにおいしい発酵食」

★トウガンとショウガ汁 ★甘酒入りマトチキン  
★カボチャときざみ昆布煮 ★甘酒ヨーグルトプリン ★雑穀米  
(メニューは都合により変更させていただくことがあります)

### 募集人数 25名程度

組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,200円 (当日現金にて申し受けます)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 2019年10月21日(月)

### お申込み/お問い合わせは

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAX、Eメールでお申込みください。

〒690-0823 松江市西川津町1635-1

くにびき地区本部企画総務部ふれあい課・サンサン料理教室係

TEL: (0852) 55-3018 FAX: (0852) 32-6870

E-mail: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

※定員になりお断りする場合は電話にてご連絡いたします。連絡がない場合は当日会場までお越しください。

参加者募集中!

第7回 J A し ま ね

主催:くにびき地区本部 / 共催:くにびき女性部、くにびき青年連盟  
特別協力:松江ウォーキング協会

くにびきだんだん健康ウォーク大会

組合員・利用者みなさまの健康づくり、ゆとりと生きがいづくりをすすめるため、「JAしまね くにびきだんだん健康ウォーク大会」を実施します。ぜひ、ご参加いただき秋の松江の自然を満喫してみませんか。

- 1.開催日時 令和元年11月2日(土) 8時00分受付開始 9時30分出発 ※雨天決行
- 2.集合場所 くにびき地区本部
- 3.コース 松江縁結び大橋～くにびき大橋10kmコース(地図参照)
- 4.募集人員 150名程度
- 5.参加料 500円(傷害保険料含む) ※参加料は当日現金にて申し受けます。
- 6.参加申込 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・緊急連絡先を記入の上、ハガキ、FAXまたはEメールで下記までお申込みください。
- 7.参加締切 10月25日(金) 必着
- 8.記念品 ゼッケン・完歩証・JAグッズ
- 9.準備品 水筒・雨具・帽子・タオル等
- 10.イベント お楽しみ抽選会、女性部による「特製みそ汁」無料配布、特産品等の立売り、バイタルチェック(血圧測定)等

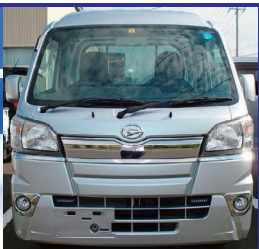


くにびき地区本部 企画総務部ふれあい課 「くにびきだんだん健康ウォーク大会」係 HP: JAしまねくにびき地区本部 検索  
〒690-0823 松江市西川津町1635-1 TEL(0852)55-3018 FAX(0852)32-6870 Eメール: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

今月の特選車

ダイハツハイゼットトラック ジャンボ

(年式)平成29年式  
(走行)41,100km  
(車体色)シルバー AT 4WD  
(車検)受渡し  
(装備)AC PS PW ナビ ETC  
バックモニター (車両本体価格) 920,000円(税込)  
※すでに売却済みの場合はご容赦下さい。(諸費用別途)



お問い合わせ先は 自動車センター TEL:55-3077

定年退職者

令和元年8月31日付

永年お世話になり  
ありがとうございました。



三島 滋夫

# 人事異動のお知らせ

令和元年9月1日付で、定期人事異動を発令いたしました。

	氏名	新任	旧任
宮農経済部	岩水 孝則	営農企画課担い手サポートセンター新規就農係	営農企画課担い手サポートセンター担い手対策係
	田中 健次	産直資材課JAグリーンかわつ店舗係	産直資材課JAグリーンつだ店舗係
	梶谷 朋之	産直資材課JAグリーンつだ店長	美保関支店信用渉外係（支店長補佐）
	吉川 敏弘	産直資材課JAグリーンつだ店舗係	産直資材課JAグリーンかわつ店舗係
	石橋 保範	営農指導課（課長補佐）	生活福祉部葬祭課葬祭センター（センター長補佐）
生活福祉部	井上 進	福祉課サン・エールたまゆ通所介護事業所福祉係	生活福祉部福祉課サン・エールたまゆ短期入所生活介護事業所福祉係
	近藤 好幸	福祉課サン・エールたまゆ通所介護事業所福祉係	生活福祉部福祉課サン・エールたまゆ短期入所生活介護事業所福祉係
	澤田 佳男	福祉課サン・エールたまゆ通所介護事業所福祉係	生活福祉部福祉課サン・エールたまゆ短期入所生活介護事業所福祉係
	田中 達也	福祉課サン・エールたまゆ通所介護事業所福祉係	生活福祉部福祉課サン・エールたまゆ短期入所生活介護事業所福祉係
	勝部 静枝	福祉課サン・エールたまゆ通所介護事業所福祉係	生活福祉部福祉課サン・エールたまゆ短期入所生活介護事業所福祉係
	沖本 達哉	生活総合課資産相談センター資産相談係係長	企画総務部人事課付（JA世田谷目黒出向）
	佐藤 隆	生活燃料センター生活燃料係	法吉支店業務係
	上田 武	葬祭課課長	生活福祉部葬祭課課長兼葬祭センターセンター長
	大野 公祐	葬祭課葬祭センターセンター長	営農経済部産直資材課JAグリーンつだ店長
	米倉 申	葬祭課葬祭センター葬祭係（正職員登用）	葬祭課葬祭センター葬祭係
企画総務部	今岡 修	統括部長兼企画総務部長	津田支店支店長
	山田 弘樹	企画管理課リスク管理係（課長補佐）	東出雲支店支店長
	黒崎 唯	企画総務部人事課付	生活福祉部福祉課サン・エールたまゆ短期入所生活介護事業所福祉係
川津支店	柳浦 純子	業務係	生活福祉部生活総合課資産相談センター資産相談係
	寺本 友香	業務係	企画総務部人事課付
	足立 彩	業務係	古江支店業務係
古江支店	池田 久夫	支店長	八束支店支店長
	樋口麻友佳	業務係	企画総務部人事課付
津田支店	野津 隆	支店長	古江支店支店長
	黒目 早貴	業務係	乃木支店業務係
乃木支店	久井 真希	業務係	企画総務部人事課付
鹿島支店	山田 健一	業務係	川津支店業務係
	小林 順子	業務係	川津支店業務係
	野津 治美	古浦店	鹿島支店業務係
八束支店	井上 和之	支店長	営農経済部営農企画課（課長補佐）
美保関支店	石田 翼	信用渉外係	営農経済部営農指導課営農指導係
	古藤 由美	業務係	川津支店業務係
東出雲支店	越野 浩昭	支店長	統括部長兼企画総務部長
	岩田真規子	業務係	川津支店業務係
玉湯支店	永井 真理	業務係	企画総務部人事課付

## 10月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー（税・ローン）

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
9	水	税務相談会	宍道支店（TEL：66-0416）10：00～12：00
10	木	税務相談会	津田支店（TEL：24-1818）10：00～12：00
11	金	税務相談会	中原店（TEL：21-2567）10：00～12：00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先：開催会場となる支店・店

○くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、土曜日（10：00～15：00）に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※10月の土曜営業日は12日、26日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

# 酸性土を矯正し、排水を良くする ホウレンソウ

## あなたもチャレンジ! 家庭菜園

園芸研究家 ● 成松次郎

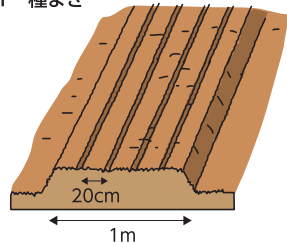
ビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜で、特に日本人に不足しがちなビタミンB群や、造血作用に関係する葉酸、そして鉄分とカリウムが多いのが特徴です。生育の適温は、15～20度で冷涼な気候を好み、耐寒性は強いが暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えます。関東以西の地域では、夏取り以外は栽培できますが、冬取りの栄養価が高く、甘味も増し最もおいしい季節です。

**【品種】** 秋取りは生育の良い「アトラス」（サカタのタネ）、「オーライ」（タキイ種苗）、「ハンター」（カネコ種苗）など、冬取りは寒さに強い「ソロモン」（サカタのタネ）、「トライ」（タキイ種苗）などが良いでしょう。

**【畑の準備】** ホウレンソウは酸性土を嫌うため、事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、幅1mの広幅の栽培床を作り、1平方m当たり化成肥料（N-P-K=10-10-10）150gと堆肥2kgを土とよく混和しておきます。

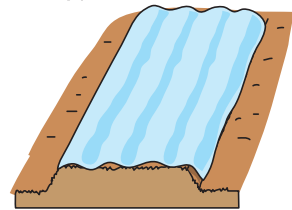
**【種まき】** 適期は9～10月。栽培床は平らにならし、条間20cm、深さ1～2cm程度のまき溝を切り、まき溝を板切れを立てて平らな溝に仕上げ、1cm間隔に種をまきます（図1）。1cmほど覆土し、たっぷり灌（かん）水します。そして、風雨や害虫

図1 種まき



土を軽く盛り上げて幅1mの栽培床を作る。板切れなどで幅2mm、深さ1～2cmの種まき溝を付け、1cm間隔に種まきする

図2 べた掛け



風雨や害虫から守るために、不織布をべた掛ける

から幼苗を守るため不織布をべた掛けします（図2）。

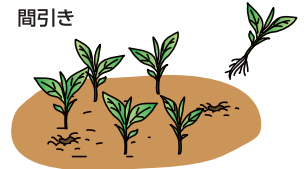
**【管理】** 1回目は発芽そろい時に込み合っている所の株を抜き取り、その後、2～3回に分けて最終的に株間を4～5cmにします（図3）。栽培期間が長い10～11月まきでは、草丈10～15cmのころ、1平方m当たり30gを追肥し、株元に軽く土寄せします（図4）。

**【病害虫の防除】** ヨトウムシは見つけ次第、捕殺し、アブラムシには、気門閉鎖剤（商品名：粘着くん液剤）などで防除できますが、不織布をべた掛けして飛来を予防すると良いでしょう。

**【収穫】** 草丈が25cmくらいを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。株元の根を鎌やはさみで切り取ります。直売所などに出荷する場合は、枯れ葉を除いて300gくらいに束ねます。

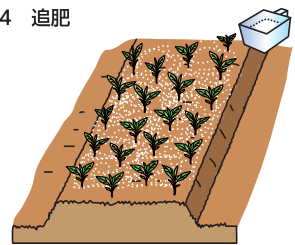
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

図3 間引き



発芽そろいの後、密生部を間引く。その後2～3回に分けて間引き最終的に1本立てにする

図4 追肥



草丈10～15cmのとき、化成肥料を条間にまき、移植などで土寄せする

## 理事会情報（7月30日開催）

### 【協議事項】

- ①令和元年9月1日付け機構改革の実施について
- ②令和2年2月22日付け機構改革の実施について
- ③JAしまねにおける営農・経済事業改革に向けた取組について
- ④「令和2年度島根県農業政策および予算に関する要望」について（第2次案）
- ⑤令和元年度補助事業の実施について
- ⑥令和元年度島根米の諸条件の設定について

- ⑦簡易ガス事業における保安規程の一部改正について
- ⑧信用事業方法書（為替取引）の改正について
- ⑨信用手数料の改定について
- ⑩長浜支店にかかる土地および建物の取得について
- ⑪組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑫系統団体および関連団体等への常勤役員の就任について
- ⑬平成30年度期末決算監事監査報告書における整備改善を要する事項（個別意見書）への回答について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

農業者年金基金からのお知らせ

# 農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

**国民年金 + 農業者年金**

◎こんな方が**加入**できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上60歳未満の方

◎**積立方式**だから自分がかけた金額は年金として**生涯**もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は**いつでも変更**できます。

月々2万円から6万7千円まで

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、

所得税や住民税等の**節税**になります。

◎**政策支援**(保険料の国庫補助)が受けられます。

例: 認定農業者で青色申告者等  
35歳未満の人は10,000円(5割)補助

独立行政法人農業者年金基金

専門相談員 TEL.03-3502-3199

企画調整室 TEL.03-3502-3942

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会やJAしまね各地区本部または農業者年金基金にお問い合わせください。

楽しい、おいしいがいっぱい!!  
年に一度の大イベント!



# ワインまつり

10/19(土) 10:00~17:00  
10/20(日) 9:00~16:00

2019ぶどう収穫感謝祭 SHIMANE WINERY

ワインまつり特別  
**BBQ**

2日間先着  
計**1,500**食限定

バーベキュー  
特別価格 **500**円(税込)  
一人前

- 島根和牛
- 豚肉
- おにぎり
- 野菜のセット
- ソフトドリンク
- 飲み放題



※詳しくは島根ワイナリーまで

※写真はイメージです。※バーベキューハウス(シャトー弥山)は10時30分から18時30分まで

10/19(土)

★中庭 出雲農林高校  
「ふれあい動物園」がやってくる!!  
出雲商業高校ダンス同好会  
石見神楽(大尾谷社中)  
出雲農林高校太鼓部

10/20(日)

カミアリージャーショー  
フォーゲルパークバードショー  
大社高校吹奏楽部  
石見神楽(下原西組神楽社中)

10/19(土)・20(日)

被災地応援チャリティ  
**2日間開催**  
ビンゴ大会  
各回先着200枚 **1枚100円**  
限定品  
蔵出しワイン  
試飲即売会

ミニ縁日

キャラクター&スーパーボール  
すくい・輪投げ・射的など



買物特典  
**大抽選会**

期間中、島根ワイナリーでの  
お買物3,000円で  
1回抽選できます。



テント市

地元のおいしいものや、  
アクセサリー、  
寄植など



青空市

青果物・海産物・  
農畜産物など出店



\*天候・諸事情によりイベントの内容、時間を変更または中止とする場合がありますので予めご了承ください。\*お酒は20歳になってから。\*飲酒運転は法律で禁止されています。

**島根ワイナリー**  
島根県出雲市大社町夢根264-2  
TEL 0853-53-5577

## なすと鶏肉の梅肉和え



### ●材料

長なす	1本
〔鶏むね肉	1枚
片栗粉	
貝割れ	1/2
〔ポン酢	大さじ1~2
生姜絞り汁	少々
梅干	1個
塩	少々



### ●作り方

- ①長なすは、縦半分、長さ5~6cm、縦4等分する。
- ②鶏むね肉は皮を除き、5cmの削ぎ切りにして片栗粉を薄くまぶす。
- ③熱湯に塩を少々入れ、なすを4~5分ゆでる、網じゃくしですくい、氷水につけ、なすをゆでた湯で鶏肉をゆで、氷水につける。
- ④ボールに水気をしぼったなす、鶏むね肉、貝割れ、ポン酢、生姜絞り汁、たたいた梅干を入れ混ぜる。

★生姜、ポン酢味であっさりした味です。パサつきがちなむね肉は片栗粉をつけてしっとりさせています。秋なすがおいしい残暑が残る秋にピッタリな一品です。

## 黒ごま団子

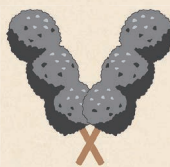


### ●材料 (10個分)

だんごの粉	130g
砂糖	大さじ2
黒すりごま	大さじ3
水	160cc
こしあん	200g

### ●作り方

- ①あんを10個に丸めておく。
- ②あん以外の材料を耐熱容器に入れ混ぜとく。
- ③ラップをふんわりしてレンジに2~3分かけ、つくように混ぜる。
- ④③が熱いうちに丸めたあんを包む。



★簡単に電子レンジでできる和菓子です。こしあんを包みこんだゴマだんごです。ミニサイズなので、デザートを一品加えたいときなどに便利です。熱いうちにあんを包むときれいに仕上がります。

## 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は「第9回高校生の神楽甲子園」に初出場した、島根県立飯南高等学校神楽愛好会の演目【日本武尊】のワンシーンです。有志のクラブ活動として1~3年生の生徒8人が愛好会を発足。地元で活動する飯南神楽団に指導を仰いで稽古を重ねました。熊襲の賊長「川上猛」を打ち倒すシーンでは、大勢の観客が沸き立ちました。

## 編集後記

我が子が通う小学校では、夏休みの間に各教室へのエアコン設置が完了したそうです。これまでエアコン無しだったことに驚くとともに、子ども達の学習環境が改善されたことに安心しました。夏のうだるような暑さなど「異常」気象が恒常化しつつある昨今、昔と今は違うことを理解し、家庭でも職場でも適切な環境整備に努めなければならないと改めて感じます。(和)

## 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

